

## 自己評価報告書

平成23年 4月9日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究 (C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530260

研究課題名 (和文) 東・東南アジア諸国の部品貿易と貿易政策

研究課題名 (英文) Parts and Components Trade and Trade policies in East and South-east Asian Countries

## 研究代表者

横田 一彦 (YOKOTA KAZUHIKO)

早稲田大学・商学大学院・准教授

研究者番号：40390819

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・応用経済学

キーワード：貿易政策, 部品貿易, アジア

## 1. 研究計画の概要

本研究はアジア諸国間の部品貿易の決定因とメカニズムを解明することを第1の目的とし、部品貿易の増大がアジア諸国の経済に及ぼす影響を分析することを第2の目的とする。分析対象国は、日本、韓国、中国、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムである。

## 2. 研究の進捗状況

平成20年度は関連する理論・実証研究のサーベイを行うと同時に、アジア諸国の部品貿易についてのデータの整理を1980年から2006年まで行った。また、適当な価格指数を用いて分析に供することのできるデータを作成した。

平成21年度には現地でのフィールドサーベイを行い、企業インタビュー、現地研究者へのインタビューを行うと同時に数量分析を開始した。分析手法は Baier and Bergstrand (2007) や Badinger (forthcoming) 等を参考に、貿易政策の内生性、同時性バイアス、計測誤差バイアスをそれぞれ考慮した分析手法を採用する。産業の特性をコントロールするために、産業ごと、クロスセクション、パネルデータ、時系列等でデータを分析・吟味した。

また、国際学会に参加してアジア諸国の関連するデータの入手を模索し、同時に各国研究者との議論を続け、最新の学術的情報と知見を獲得した。

平成22年度はアジア地域の部品貿易の増大の要因を特定した結果を英文でまとめ、アメリカの Western Economic Association International と East Asian Economic Association の学会や Pittsburg 大学等で報

告した。分析結果は明らかに日本企業が海外に進出するに従い、日本からアジアへの部品貿易が因果関係を考慮しても増加することを示している。現在、得られた多くのコメントをもとにモデルや推計結果の改良を行っている。(625字)

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している

## 4. 今後の研究の推進方策

モデルや推計系方法の改良を試み、引き続き国際学会で研究発表を行う予定である。また、この研究から導き出された重要な問題として「産業の空洞化」があげられる。この問題にもより踏み込んだ研究を行う予定である。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

1. K. Yokota, KM. Chen, “R&D Spillovers and Foreign Market Entry: Acquisition vs. Greenfield Investment.” (forthcoming). International Economic Journal. (査読あり)

2. K. Yokota, A. Tomohara “Foreign Direct Investment and Wage Inequality: Is Skill Upgrading the Culprit?” (forthcoming). Applied Economics Letters. (査読あり)

3. K. Yokota, “Japan’s Parts and Components Exports and Complementarity with Foreign Investment” (2010), D. Hiratsuka and Y. Uchida eds. Input Trade and Production Networks in East Asia,

Edward Elgar. MA. 84-106. (査読あり)

4. K. Yokota, A. Tomohara, Modeling FDI-induced Technology Spillovers,” (2010), International Trade Journal. Vol. 24, No.1, 5-34. (Lead Article) (査読あり)

5. K. Yokota, A. Tomohara “Export-led Growth via Export Platform Strategies: The Impact of Free Trade Agreements on the Structure of FDI,” (2009), World Economics. Vol. 10, No. 4, 147-160 (査読あり)

[学会発表] (計 5 件)

1. K. Yokota, December 4, 2010, Tokyo, Keio University. Globalization and Its impact on Corporate Strategies. “Learning by Exporting? -The Case of Chinese Firms-” .

2. K. Yokota, November 22, Jeollabuk-do, Korea, Woosuk University. “Asian Economic Cooperation” .

3. K. Yokota, October 2, 2010, Seoul, Korea. East Asian Economic Association 12th International Convention. “Learning by Exporting? -The Case of Chinese Firms- “.

4. K. Yokota, July 1, 2010, Portland, U. S. A. Western Economic Association 85th Annual Convention, “Learning by Exporting? -The Case of Chinese Firms- “.

5. K. Yokota, November 3, 2009 University of Pittsburgh, Brown-bag seminar (Pittsburgh)

[図書] (計 4 件)

1. Urata, S., et al, Multinationals and Economic Growth in East Asia, Routledge, New York, , 2009

2. 浦田秀次郎, 『国際経済学入門』(第 2 版), 日本経済新聞社, 2009

3. 浦田秀次郎, 「日本・欧米・アジア企業のタイにおける企業行動：日本企業にとっての示唆」, 深尾京司・日本経済研究センター編『日本企業の東アジア戦略』, 2008, 273 頁/247-273 頁

4. 浦田秀次郎、阿部一知、総合研究開発機構編, 『日中韓 FTA:その意義と課題』, 日本経済評論社, 2008, 228 頁